

感覚運動医学講座 皮膚科学

1. 領域構成教職員・在職期間

教授	長谷川 稔	平成25年6月～
准教授	尾山 徳孝	平成30年4月～
講師	飯野 志郎	平成18年10月～平成18年12月、平成24年4月～（平成29年8月～現職）
助教	加畑 雄大	令和6年4月～
助教	馬場 夏希	令和3年12月～
助教	笠松 宏幸	令和6年4月～

2. 研究概要

研究概要

1) 全身性強皮症の臨床研究と新規治療法の開発

全身性強皮症（以下、強皮症と略）は、自己免疫異常を背景に全身に線維化、血管障害をきたす膠原病である。厚生労働省の難病に指定されており、いまだ治療法が十分に確立されていない。このため、当教室では患者の臨床データの多施設レジストリの解析を進めたり、強皮症の動物モデルを用いて新規治療の探索が続けている。

・厚生労働省の全身性強皮症の研究班において、2021年1月から国内の18施設でレジストリを立ち上げ、当教室が中心となってその集積を行なっている。また、以前の研究班で集めたレジストリのデータを再度利用して大学院生が解析したところ、4年後の皮膚硬化、間質性肺炎、身体機能のそれぞれを予測する因子が明らかとなった。この結果は2023年の国際会議で発表予定である。

・ケモカインを標的とした抗体治療 以前に2種類の強皮症のマウスモデルにおいて、ケモカインCX3CL1を阻害するモノクローナル抗体投与による治療効果を明らかにし、リウマチ研究のトップジャーナルに報告し、プレスリリースを行なった。その有用性をより確かなものとするために、別の強皮症モデルである皮膚硬化型慢性GVHDマウスモデルにおいても本抗体治療の有用性を検討した。このモデルでは、皮膚だけでなく、肺にも強皮症にみられるような線維化が生じるが、抗CX3CL1抗体治療は皮膚や肺の炎症や線維化を用量依存性に有意に抑制した。また、その機序についてもRNAシーケンスなどを用いて解析し、CX3CL1の受容体を発現するマクロファージや炎症・線維化と関連するサイトカインの組織での発現抑制を介して作用することが明らかとなった。この成果は、欧州や国内で開催された国際学会で口頭発表にも選出された。現在論文投稿中であり、我々の3種類の疾患マウスモデルでの有用性を根拠として、今後は実際の強皮症患者の臨床試験に発展させたい。

・上皮間葉移行を抑制する薬剤による新規治療 強皮症では、線維芽細胞だけでなく、血管内皮・周皮細胞、上皮細胞、脂肪細胞、骨髄由来のfibrocyteなどの前駆細胞が筋線維芽細胞などの間葉系細胞に移行して線維化が促進する可能性が指摘されている。我々は企業との共同研究の中で、独自の方法により上皮細胞が間葉系細胞に移行する系を阻害する薬剤を1200種類以上の化合物の中からスクリーニングした。そして、そのひとつでクルグミン誘導体である化合物LG283の有用性をプレオマイシン誘導性強皮症マウスモデルやヒト線維芽細胞を用いて検討した。LG283の連日内服により皮膚硬化は有意に抑制され、特に副作用もみられなかった。LG283は、TGF- β による皮膚線維芽細胞からのコラーゲンやファイブロネクチンの産生を抑制した。また、上皮細胞や血管内皮細胞にTGF- β を添加して間葉系細胞への移行を誘導する検討において、LG283の添加は間葉移行を抑制した。本研究成果は、リウマチ研究の一流国際雑誌に掲載され、医学部の優秀論文にも選出された。他にも同様のスクリーニング法で抽出した市販薬のひとつ（市販薬A）が、プレオマイシン誘導性強皮症マウスモデルの炎症や線維化を有意に抑制することを認めており、drug repositioningの可能性を秘めている。現在その機序について検討を進めている。独自のスクリーニング法でスクリーニングされたHPH-15、LG283、市販薬Aの3つのいずれもが、これまで当教室のマウス実験で有効性を示しており、本薬剤スクリーニング法が全身性強皮症をはじめとする線維化疾患の治療薬の開発に有用と考えられる。

・カルパイン阻害薬による新規治療 細胞内Ca²⁺要求性プロテアーゼであるカルパインファミリーは、その生理活性が様々な疾患の病態に関与することが知られている。カルパイン阻害薬は、マウスにおいて肺線維症、皮膚の瘢痕形成、血管障害などを軽減する報告があり、強皮症の線維化、血管障害の治療薬として有用な可能性がある。カルパイン阻害薬のひとつであるALLNを培養ヒト皮膚線維芽細胞に添加したところ、TGF- β によるSmad2/3のリン酸化が阻害され、コラーゲンやファイブロネクチンの産生が抑制された。そこで、プレオマイシン誘導性強皮症モデルに腹腔内注射を行うと、皮膚と肺の炎症や線維化が有意に軽減した。本研究成果は、米国と国内で開催された国際学会において口頭選出され、論文投稿中である。カルパインを標的とした治療薬はいまだ承認されたものがないが、全身性強皮症などの線維化疾患の治療薬としての有用性をさらに検証する予定である。

2) 表皮に発現する蛋白デルモカインの役割の検討

我々は、表皮の上層に特異的に発現する分泌蛋白であるデルモカインの役割に関して、デルモカイン β / γ 欠損マウスとデルモカイン α / β / γ 欠損マウスを作成して検討してきた。その結果、デルモカインは皮膚の正常な角化や乾癬などの病態の炎症制御など皮膚の恒常性維持に重要であることが明らかとなり、皮膚科学研究で最も権威のある国際雑誌に掲載され、プレスリリースを行った。その後は、医学部の学生がこのプロジェクトを引き継ぎ、マウスのバックグラウンドにより、アトピー

3) 陰部皮膚カンジダ症に対する抗真菌剤含有石鹸の洗浄による治療

オムツ着用部位の皮膚カンジダ症の治療にミコナゾール含有石鹸を用いた洗浄が有用であることを前向き研究で明らかにし、これまでに2つの国際雑誌に発表し、プレスリリースを行った。その後、在宅医療における本治療法の有用性を特定臨床研究として進めており、症例がかなり集まってきている。本治療の有用性を証明することで、国内外の在宅医療に普及させることを目指している。

4) 有棘細胞癌の適切な切除マージンの検討

有棘細胞癌において、ガイドラインで推奨されている切除マージンと、それよりも縮小した切除マージンの手術の間で、予後に違いがみられるかどうかを1204例の多施設共同研究の筆頭著者として大学院生が解析した。その結果、ガイドライン推奨のマージンを縮小しても、予後に影響しない可能性が示唆された。本成果は、皮膚科の一流雑誌に掲載され、医学部の優秀論文賞に採択された。また、別の大学院生は顔面の皮膚癌に対する二段階手術療法の有用性を明らかにし、国際雑誌に掲載された。

いずれの研究も順調に進んでおり、新たなプロジェクトも発展してきている。

キーワード

強皮症、乾癬、アトピー性皮膚炎、皮膚腫瘍、 新規治療、皮膚真菌症、在宅治療

業績年の進捗状況

いずれの研究も順調に進んでおり、着実に成果が出てきている。また、並行して新たなプロジェクトも立ち上げている。

特色等

当教室は、厚生労働省の指定難病である全身性強皮症という膠原病を臨床と研究の専門のひとつとしている。本疾患は、全身の線維化、血管障害を特徴とし、膠原病の中でも最も治療が難しく、予後不良の症例も少なくない。このため、新規治療の開発が必要で、臨床研究と基礎研究の両面から検討を行っている。臨床研究では、国内の専門施設に協力いただき、当教室がレジストリのとりまとめを行なっており、本疾患の自然経過や予後とそれらの予測因子、治療の動向の把握につとめており、研究成果を2023年の国際会議に報告予定である。基礎研究においては、以下のような3つのアプローチで検討を進めている。1) マクロファージなどの組織への細胞浸潤を誘導するケモカインのひとつであるCX3CL1を抑制する抗体治療、2) 1200種類以上からスクリーニングした上皮間葉移行を抑制する化合物や市販薬による治療、3) カルパイン阻害薬による治療。強皮症のマウスモデルにこれらの薬剤を投与したところ、線維化や血管障害を抑制する効果が確認され、問題となる副作用はみられていない。将来的には、これらの薬剤を実際の強皮症患者や他の炎症性疾患や線維化疾患に投与する臨床試験へと発展させたい。また、薬剤の作用機序を検討する中で、強皮症の病態を明らかにする手がかりが得られるものと信じている。

もうひとつの研究の大きな柱は、表皮に発現する糖蛋白デルモカインの役割の解明である。我々は、その役割をより明らかにするためにデルモカインの欠損マウスを世界に先駆けて作製し、その表現型を解析した。このマウスでは皮膚の保湿に重要なセラミドが減少し、角化と関連する様々な分子の発現に生じるため、毛が生えてくるまでは魚鱗癬のようなかさかさの皮膚を呈し、魚鱗癬などの角化異常疾患のモデルや病態解析に有用と考えられる。また、このマウスに代表される皮膚炎症性疾患であるアトピー性皮膚炎、乾癬、接触皮膚炎などのモデルを誘導すると、乾癬のモデルでのみ野生型マウスに比べて悪化がみられることを以前に報告した。しかし今年度の検討で、バックグラウンドを変えることでアトピー性皮膚炎モデルがデルモカイン欠損マウスで悪化する場面があることを明らかにした。デルモカインは角化やバリア機能異常のみならず、免疫担当細胞にも作用して特定の炎症の抑制に作用しているものと考えられ、さらには背景となる免疫環境の違いによって作用が一部異なる可能性が示唆される。本研究は、皮膚の角化異常や炎症性疾患におけるバリア機能と免疫異常とのクロストークの解明の一助になると思われる。当教室はデルモカインの研究では世界のトップを走っており、デルモカインの発現を促進するような治療が、将来的に実際の皮膚疾患患者に有用となる可能性を秘めており、臨床的な意義も大きい。

本学の理念との関係

当教室では、その分野における最先端の臨床研究・基礎研究を推進しており、その研究成果を皮膚科学やリウマチ学の国際的なトップジャーナルに発表し、プレスリリースや記者説明会などで報告してきている。また、これらの研究を通して、地域、国、国際社会に貢献できる若手研究者の育成を行い、国際学会などでの報告も多い。研究の大半は、市販されていない治療薬や独自に作製した遺伝子欠損マウスを用いた独創性の高いものであり、難治性の膠原病や皮膚疾患における最新治療の開発につながるものである。これらのことから、当教室での研究内容は『物事の道理や本質を深く追求し、理解して、知識や学問を深め得ること』という意味を持つ本学の理念によく合致したものであり、その意義は大きいと考える。

3. 研究実績

区分	編数		インパクトファクター（うち原著のみ）	
	2018～2023年分	2024年分	2018～2023年分	2024年分
和文原著論文	19	3	—	—

業績一覧

英文論文	ファーストオーサー	19	4	55,981(48,686)	7.4(7.4)
	コレスポンディングオーサー	23	5	66,28(58,985)	10.3(10.3)
	その他	10	3	35,289(35,289)	6.5(6.5)
	合計	33	8	101,569(94,274)	16.8(16.8)

(A) 著書・論文等

(1) 英文：著書等

a. 著書

b. 著書（分担執筆）

c. 編集・編集・監修

(2) 英文：論文等

a. 原著論文（審査有）

24103

Ito T, Kukino R, Sarayama Y, Tanioka M, Maekawa T, Yatsushiro H, Asai J, Asano Y, Abe M, Amano M, Ikegami R, Ishii T, Isei T, Isogai Z, Inoue Y, Irisawa R, Iwata Y, Otsuka M, Omoto Y, Kato H, Tanizaki H, Kadono T, Kaneko S, Kanoh H, Kawakami T, Kawaguchi M, Kono T, Koga M, Koderia M, Sakai K, Sakurai E, Shintani Y, Tsujita J, Doi N, Nakanishi T, Hashimoto A, Hasegawa M, Hayashi M, Hirotsaki K, Fujita H, Fujimoto M, Fujiwara H, Matsuo K, Madokoro N, Motegi SI, Yamasaki O, Yoshino Y, Le Pavoux A, Tachibana T, Ihn H.: Wound, Pressure Ulcer, and Burn Guidelines-5: Guidelines for the management of lower leg ulcers and varicose veins, second edition, J Dermatol., 52(2), e49-e69, 202502, DOI: 10.1111/1346-8138.17503, #2.9

24104

Yamauchi Y, Oyama N, Hasegawa M.: A case of segmental acquired reactive perforating collagenosis: case report and literature review of the unique presentation., Anais Brasileiros de Dermatologia, 100(1), 169-172, 202501, DOI: 10.1016/j.abd.2024.03.010 (症例報告), #2.6

24105

Tsubaki T, Kodaka E, Kitano Y, Kodama M, Fukumoto S, Takano C, Iino S, Hirono Y: Effective Pain Management of Postherpetic Neuralgia Using a Combination of Analgesics and Conservative Measures, Cureus, 16(11), e73132, 20241106, DOI: 10.7759/cureus.73132 (症例報告)

24106

Uesugi-Uchida S, Fujimoto M, Asano Y, Endo H, Goto D, Jinnin M, Kawaguchi Y, Tanaka S, Tokunaga T, Makino K, Matsushita T, Motegi SI, Yoshizaki A, Sato S, Hasegawa M.: Predictors of clinical features in early-onset severe systemic sclerosis: An analysis from a multicenter prospective observational Japanese cohort, J Dermatol., 51(10), 1290-1297, 202410, DOI: 10.1111/1346-8138.17403, #2.9

24107

Hasegawa T, Utsunomiya A, Chino T, Kasamatsu H, Shimizu T, Matsushita T, Obara T, Ishii N, Ogasawara H, Ikeda W, Imai T, Oyama N, Hasegawa M.: Anti-CX3CL1 (fractalkine) monoclonal antibody attenuates lung and skin fibrosis in sclerodermatous graft-versus-host disease mouse model., Arthritis Research & Therapy, 26(1), 94-94, 202405, DOI: 10.1186/s13075-024-03307-8, #4.4

24108

Higashida S, Nishimura K, Muneishi Y, Sonoda T, Anzai M, Kawasaki T, Koga H, Ishii N, Oyama N, Hasegawa M: A case of refractory pemphigus herpetiformis with positive anti-desmoglein 1 antibody: Case report and literature review to revisit the disease characteristics of 167 cases, Indian J Dermatol, 69(3), 283-283, 202405, DOI: 10.4103/ijd.ijd_1015_23 (症例報告), #1

24109

Higashida S, Nishimura K, Muneishi Y, Sonoda T, Anzai M, Kawasaki T, Koga H, Ishii N, Oyama N, Hasegawa M.: A Case of Refractory Pemphigus Herpetiformis with Positive Anti-Desmoglein 1 Antibody. Case Report and Literature Review to Revisit the Disease Characteristics of 167 Cases., Indian J Dermatol, 69(3), 283-283, 202405, DOI: 10.4103/ijd.ijd_1015_23, #1

24110

Sekine S, Oyama N, Io K, Fuseda T, Hasegawa M.: The use of oral colchicine as a therapeutic and prophylactic approach in a case of PFAPA syndrome with recurrent genital ulcers: an under-recognized manifestation?, European Journal of Dermatology, 34(2), 213-214, 202404, DOI: 10.1684/ejd.2024.4653 (症例報告), #2

b. 原著論文（審査無）

c. 原著論文（総説）

d. その他研究等実績（報告書を含む）

24111

Kawate K, Kasamatsu H, Nishimura K, Muneishi Y, Takashima W, Koizumi H, Iino S, Hayashi K, Oyama N, Hasegawa M: A case of refractory peripheral neuropathy associated with eosinophilic granulomatosis with polyangiitis with successful tapering of systemic corticosteroid and reduced dosing frequency of high-dose intravenous immunoglobulin after combined use of mepolizumab, Journal of Cutaneous Immunology and Allergy, 7, 12776, 202404, DOI: 10.3389/jcia.2024.12776, #1.1

e. 国際会議論文

24112

Hasegawa M.: Skin Lesions of Lupus Erythematosus (T?n th?ng da trong b?nh lupus ban ?? h? th?ng), Vietnam Annual National of Dermatology 2024 (ANGD), 202411

24113

Kasamatsu H, Oyama N, Oku Y, Inoue G, Kimur M, Kanno M, Kawakami T, Ohta H, Yoneshima M, Hasegawa M: A rare case of clinically aggressive pancreatic panniculitis caused by an occult neuroendocrine tumor in the corresponding organ, 14th Meeting of the German-Japanese Society of Dermatology, 16, 202406

24114

Hasegawa M: Evaluation of vascular lesions in systemic sclerosis, 13th ASIAN DERMATOLOGICAL CONGRESS (ADC), https://adc2024shanghai.tiemeeting.com/EN/Program/Details#, 202405

(3) 和文：著書等

a. 著書

b. 著書（分担執筆）

24115

長谷川 稔：成人Still病：高橋健造、佐伯秀久：皮膚疾患 最新の治療 2025-2026, 南江堂, 103, 20241115, 978-4-52421-147-0

24116

尾山徳孝：硬化性萎縮性苔癬：西田絵美、森田明理：治りにくい皮膚疾患・どうする？, 株式会社メディカルレビュー社, 112-113, 20241012, 978-4-77922-732-5

c. 編集・編集・監修

24117

全身性強皮症診療ガイドライン 2025年版, 金原出版株式会社, 202501

(4) 和文：論文等

a. 原著論文（審査有）

24118

尾山 徳孝：粘膜の潰瘍, 月間 皮膚科, 7(3), 220-225, 20250328

24119

小高愛莉奈、飯野志郎、藤崎美沙子、馬場夏希、尾山徳孝、長谷川 稔、米元菜採、勝尾公祐、木村純也、福島万奈、今村好章、八代 浩、後藤 啓介：ニボルマブが肺転移に奏効した悪性末梢神経鞘腫瘍の1例, 臨床皮膚科, 79(2), 137-143, 202502 (症例報告)

24120 西村 健太郎、尾山 徳孝、長谷川 稔：血管炎の「重症例」から学ぶ、Visual Dermatology, 23(4), 375-379, 202403（症例報告）

b. 原著論文（審査無）

c. 総説

24121 飯野 志郎：耳介や前額の手術, Monthly Book Derma, 357, 55-60, 20250215

24122 長谷川 稔：全身強皮症に伴うmacroangiopathyを正しく理解する, 臨床雑誌 内科, 135(1), 85-89, 20250101

24123 長谷川 稔：SLE、強皮症、皮膚筋炎、MCTD, 小児科診療, 87(1), 187-193, 202404

d. その他研究等実績（報告書を含む）

24124 内田 沙織：皮膚科専門医のための模擬テスト40, 月間 皮膚科, 7(3), 285, 20250328

24125 長谷川 巧：皮膚科専門医のための模擬テスト28-解答と解説-, 月間 皮膚科, 5(5), 534-534, 202405

24126 長谷川 巧：皮膚科専門医のための模擬テスト28, 月間 皮膚科, 5(4), 428-428, 202404

e. 国際会議論文

(B) 学会発表等

(1) 国際学会

a. 招待・特別講演等

b. シンポジスト・パネリスト等

c. 一般講演（口演）

24127 Kasamatsu H, Oyama N, Oku Y, Inoue G, Kimura M, Kanno M, Kawakami T, Ohta H, Yoneshima M, Hasegawa M: A rare case of clinically aggressive pancreatic panniculitis caused by an occult neuroendocrine tumor in the corresponding organ, 14th Meeting of the German-Japanese Society of Dermatology, 20240627, プログラム・抄録集, 16

24128 Uesugi-Uchida S, Fujimoto M, Asano Y, Jinnin M, Matsushita T, Motegi S, Sato S, Hasegawa M: Prediction of disease progression in Early Severe Systemic Sclerosis: a multicenter, prospective cohort analysis, The 49th Annual Meeting of the Japanese Society for Investigative Dermatology, 20241207, プログラム・抄録集, 257

d. 一般講演（ポスター）

24129 Chino T, Imai M, Kasamatsu H, Hasegawa T, Nishimura K, Uchida S, Niwa S, Oyama N, Hasegawa M: Epalrestat, an aldose reductase inhibitor, attenuates skin fibrosis and vascular damage in bleomycin-induced scleroderma mouse model, The 49th Annual Meeting of the Japanese Society for Investigative Dermatology, 202412, プログラム・抄録集, 291

e. 一般講演

f. その他

(2) 国内学会（全国レベル）

a. 招待・特別講演等

b. シンポジスト・パネリスト等

24130 矢上晶子、伊藤明子、鈴木加余子、鷲崎久美子、峠岡理沙、杉浦真理子、飯島茂子、増井由紀子、上津直子、山筋好子、小林知子、杉山真理子：化粧品によるアレルギー性接触皮膚炎の診断と安全性向上に向けた成分パッチテスト推進の重要性と課題, 第54回日本皮膚免疫アレルギー学会学術大会, 20241221, プログラム・抄録集, 107

c. 一般講演（口演）

24131 馬場夏希、飯野志郎、小高愛莉奈、宮島萌乃、笠松宏至、尾山徳孝、長谷川 稔：高齢者顔面の有棘細胞癌と規定細胞癌に対して、人工真皮を用いてopen treatment を行った症例についての検討, 第42回日本臨床皮膚外科学会総会・学術大会, 20250222, プログラム・抄録集, 50

24132 小高愛莉奈、飯野志郎、松田堯子、尾山徳孝、長谷川稔、山口万奈、今村好章、河原謙一：リンパ節生検で薬物治療の奏効を確認した腹部悪性黒色腫の1例, 第40回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会, 20240510, プログラム・抄録集, 145

24133 河手賢太郎、清水知美、知野剛直、尾山徳孝、長谷川 稔：遺伝的背景による dermokine の作用の違いに関する検討, 第123回日本皮膚科学会総会学生・研修医発表セッション, 20240608, プログラム・抄録集, 52

24134 西村健太郎、長谷川 巧、知野剛直、尾山徳孝、長谷川 稔、廣田智哉：TNF阻害薬による薬剤性亜急性皮膚エリテマトーデスの1例, 第123回日本皮膚科学会総会, 20240606, プログラム・抄録集, 1482

24135 松田堯子、長谷川巧、北野祐平、西村健太郎、宗石依子、笠松宏至、尾山徳孝、長谷川 稔、河原謙一：突発性後天性全身性無汗症に合併したコリン性蕁麻疹の小児例, 第48回日本小児皮膚科学会学術大会, 20240707, プログラム・抄録集, 90

24136 小高愛莉奈、関根史織、東田晋太郎、西村健太郎、尾山徳孝、長谷川 稔、藤井俊樹：一連の生物学的製剤に抵抗性の関節リウマチ合併乾癬性関節炎にTYK2阻害薬と免疫抑制薬が奏効した1例, 第39回日本乾癬学会学術大会, 20240824, プログラム・抄録集, 166

24137 小林知子、宮永美紀、知野剛直、関根史織、松田堯子、尾山徳孝、長谷川 稔、八代 浩：エポキシ樹脂による airborne contact dermatitis の2例, 第54回日本皮膚免疫アレルギー学会学術大会, 20241220, プログラム・抄録集, 233

24138 小高愛莉奈、飯野志郎、小高愛莉奈、宮島萌乃、岡村咲由莉、馬場夏希、加畑雄大、尾山徳孝、長谷川 稔、石黒和守、勝尾祐祐：Sebaceous borderline neoplasm の2例, 第42回日本臨床皮膚外科学会総会・学術大会, 20250223, プログラム・抄録集, 53

d. 一般講演（ポスター）

業績一覧

- 24139** 尾山徳孝、東田晋太郎、小高愛里奈、長谷川 稔、岩崎博道、坂井秀彰：メトトレキサート（MTX）の休薬で消退したMTX関連リンパ増殖症の1例，第40回日本臨床皮膚科医会総会・臨床学術大会，20240420，ﾌﾞﾛｸﾞﾗﾑ・抄録集，366
- 24140** 山内悠大、尾山徳孝、長谷川 稔：アバタセプト投与中に生じた乾癬様皮疹の1例：逆説的反応との異同について，第123回日本皮膚科学会総会，202406，ﾌﾞﾛｸﾞﾗﾑ・抄録集，1517
- 24141** 長谷川 巧、尾山徳孝、笠松宏至、知野剛直、飯野志郎、長谷川 稔、山内英暉、山内高弘：急性骨髄性白血病患者に生じた皮膚ムコール症の1例，第123回日本皮膚科学会総会，202406，ﾌﾞﾛｸﾞﾗﾑ・抄録集，1553
- 24142** 西村健太郎、長谷川 巧、知野剛直、尾山徳孝、長谷川 稔、廣田智哉：TNF阻害薬投与中に発症した薬剤性亜急性性皮膚エリテマトーデスの1例，第52回日本臨床免疫学会総会，202410，ﾌﾞﾛｸﾞﾗﾑ・抄録集，113

e. 一般講演

f. その他

(3) 国内学会（地方レベル）

a. 招待・特別講演等

b. シンポジスト・パネリスト等

c. 一般講演（口演）

- 24143** 長谷川 稔、宗石依子、西村健太郎、笠松宏至、尾山徳孝、濱口儒人：抗hUBF抗体陽性の全身性強皮症の1例，日本皮膚科学会第166回宮崎地方会 天野正宏教授退任記念，20250309，ﾌﾞﾛｸﾞﾗﾑ・抄録集，14
- 24144** 小林知子、宮永美紀、知野剛直、関根史織、松田堯子、尾山徳孝、長谷川 稔、八代 浩：エポキシ樹脂による airborne contact dermatitis の2例，第88回日本皮膚科学会東京支部学術大会，20241116，ﾌﾞﾛｸﾞﾗﾑ・抄録集，185
- 24145** 加畑雄大、長谷川 稔、藤崎美沙子、東田晋太郎、大越忠和：Indeterminate cell histiocytosis の一例，日本皮膚科学会東北六県合同地方学術大会第406回例会，20240519，ﾌﾞﾛｸﾞﾗﾑ・抄録集，81
- 24146** 尾山徳孝、北野祐平、笠松宏至、東田晋太郎、山内悠大、西村健太郎、長谷川 巧、長谷川 稔：エベリゾン内服後に急性汎発性発疹性膿疱症が出現したゲセルクマブ投与中の乾癬患者の1例，第438回日本皮膚科学会北海道地方会，20240616，ﾌﾞﾛｸﾞﾗﾑ・抄録集，20
- 24147** 西村健太郎、北野祐平、宗石依子、内田沙織、笠松宏至、尾山徳孝、長谷川 稔、羽場利博：多発指尖潰瘍を呈した抗Jo-1抗体陽性抗ARS抗体症候群の1例，第88回日本皮膚科学会東部支部学術大会，20240914，ﾌﾞﾛｸﾞﾗﾑ・抄録集，134
- 24148** 山内悠大、内田沙織、尾山徳孝、長谷川 稔、石田久哉：COVID-19ワクチン投与後に苔癬様型皮膚サルコイドーシスを発症した1例，第75回日本皮膚科学会中部支部学術大会，20241012，ﾌﾞﾛｸﾞﾗﾑ・抄録集，239
- 24149** 小高愛莉奈、飯野志郎、岸本千波、松田堯子、北野祐平、尾山徳孝、長谷川 稔、村元暁文、樋口翔平、今村好章、勝男公祐：高齢者の顔面に生じ、肉腫様の分化を伴った基底細胞癌の1例，第75回日本皮膚科学会中部支部学術大会，20241013，ﾌﾞﾛｸﾞﾗﾑ・抄録集，259
- 24150** 北風光平、岡村咲由莉、笠松宏至、飯野志郎、長谷川 稔、河原謙一：ジファミラスト外用が奏効した肉芽腫性口唇炎の2例，日本皮膚科学会北陸地方会第485回例会，20250216，ﾌﾞﾛｸﾞﾗﾑ・抄録集，2

d. 一般講演（ポスター）

e. 一般講演

- 24151** 北野祐平、小高愛莉奈、西村健太郎、尾山徳孝、長谷川 稔、八田聡美、今村好章、石黒和守：足白癬治療中に生じた皮膚限局性結節性アミロイドーシスの1例，日本皮膚科学会北陸地方会第482回例会，20240623，ﾌﾞﾛｸﾞﾗﾑ・抄録集，3
- 24152** 内田沙織、知野剛直、松田堯子、尾山徳孝、長谷川 稔：網状皮斑様の皮疹を呈した成人発症肥満細胞症の1例，日本皮膚科学会北陸地方会第482回例会，20240623，ﾌﾞﾛｸﾞﾗﾑ・抄録集，6
- 24153** 宗石依子、西村健太郎、笠松宏至、長谷川 稔、濱口儒人、上川康貴：抗NOR90抗体陽性の全身性強皮症の1例，日本皮膚科学会北陸地方会第483回例会福井県分科会，20240901，ﾌﾞﾛｸﾞﾗﾑ・抄録集，8
- 24154** 北野祐平、笠松宏至、尾山徳孝、長谷川 稔、樋口翔平、今村好章、多賀峰克、横山 修：淡明細胞型腎細胞癌の顔面皮膚転移の1例，日本皮膚科学会北陸地方会第484回例会，20241215，ﾌﾞﾛｸﾞﾗﾑ・抄録集，5
- 24155** 宮島萌乃、内田沙織、尾山徳孝、長谷川 稔、稲村 聡、樋口翔平、今村好章：陰茎亀頭部に生じたステロイド抵抗性の開口部形質細胞症にタクロリムス水和物外用の併用が奏効した1例，日本皮膚科学会北陸地方会第485回例会，20250216，ﾌﾞﾛｸﾞﾗﾑ・抄録集，1
- 24156** 岸本千波、北野祐平、松田堯子、尾山徳孝、長谷川 稔：帯状疱疹後に生じた偽性腹壁ヘルニアの1例，日本皮膚科学会北陸地方会第484回例会，20241215，ﾌﾞﾛｸﾞﾗﾑ・抄録集，5

f. その他

(4) その他の研究会・集会

a. 招待・特別講演等

b. シンポジスト・パネリスト等

c. 一般講演（口演）

d. 一般講演（ポスター）

e. 一般講演

f. その他

(C) 特許等

区分	内容（発明の名称）	発明者又は考案者
----	-----------	----------

(D) その他業績

4. グラント取得

(A) 科研費・研究助成金等

区分	プロジェクト名	研究課題名	代表者名	分担者名	研究期間	金額（配分額）
区分	研究種目	課題名	代表者名	分担者名	研究期間	金額（配分額）
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(C)	細胞外基質ECM1を標的とした新たな皮膚癌間質標的治療へのアプローチ	尾山 徳孝		20240401-20270331	¥2,470,000
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(C)	細胞外基質ECM1を標的とした新たな皮膚癌間質標的治療へのアプローチ	尾山 徳孝		20240401-20270331	¥2,470,000
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(C)	新たな魚鱗癬モデルマウスを用いた胎児治療への挑戦	知野 剛直		20220401-20250331	¥910,000
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(C)	内皮間葉移行阻害薬の探索と強皮症治療への応用	長谷川 稔		20220401-20250331	¥1,170,000
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(C)	内皮間葉移行阻害薬の探索と強皮症治療への応用	長谷川 稔		20220401-20250331	¥1,170,000

区分	機関名	課題名	研究者名	研究期間	契約金額
共同研究	リンク・ジェノミクス株式会社	全身性強皮症治療剤に関する研究	長谷川 稔	20200106-20270331	¥0
共同研究	リンク・ジェノミクス株式会社	全身性強皮症治療剤に関する研究	長谷川 稔	20200106-20270331	¥0

区分	機関名	課題名	研究者名	研究期間	契約金額
受託研究	国立大学法人東北大学	全身性強皮症に伴う間質性肺疾患（SSc-ILD）に対するPAI-1阻害薬TM5614の第Ⅱ相医師主導治験	長谷川 稔	20240401-20250331	¥3,900,000
受託研究	国立大学法人東北大学	全身性強皮症に伴う間質性肺疾患（SSc-ILD）に対するPAI-1阻害薬TM5614の第Ⅱ相医師主導治験	長谷川 稔	20240401-20250331	¥3,900,000

(B) 奨学寄附金

受入件数	12
受入金額	¥6,500,000

5. その他の研究関連活動

(A) 学会開催等

区分	主催・共催の別	学会名	開催日	開催地
国内学会（地方レベル）	主催者	日本皮膚科学会北陸地方会第483回例会福井県分科会	20240901-20240901	福井市
国内学会（地方レベル）	主催者	日本皮膚科学会北陸地方会第483回例会福井県分科会	20240901-20240901	福井市

(B) 学会の実績

学会の名称	役職	氏名
日本乾癬学会	評議員	長谷川 稔
日本皮膚科学会	理事	長谷川 稔
日本小児皮膚科学会	運営委員	長谷川 稔
Eastern Asia Dermatology Congress	Council member	長谷川 稔
アジア皮膚科学会	理事	長谷川 稔
日本皮膚悪性腫瘍学会	評議員	長谷川 稔
日本臨床免疫学会	評議員	長谷川 稔
日本研究皮膚科学会	評議員	長谷川 稔
日本免疫学会	一般会員	長谷川 稔
東アジア皮膚科会議	理事	長谷川 稔
日本白斑学会	評議員	長谷川 稔
日本皮膚免疫アレルギー学会	理事	長谷川 稔
米国リウマチ学会	一般会員	長谷川 稔
米国研究皮膚科学会	一般会員	長谷川 稔
日本リウマチ学会	一般会員	長谷川 稔
日本アレルギー学会	一般会員	尾山 徳孝
日本ベーチェット病学会	一般会員	尾山 徳孝
日本乾癬学会	一般会員	尾山 徳孝
日本臨床免疫学会	一般会員	尾山 徳孝
日本光医学・光生物学会	一般会員	尾山 徳孝
日本皮膚免疫アレルギー学会	一般会員	尾山 徳孝
日本研究皮膚科学会	評議員	尾山 徳孝
国際食品機能学会	一般会員	尾山 徳孝
国際ベーチェット病学会	一般会員	尾山 徳孝
日本臨床皮膚科学会	一般会員	尾山 徳孝
日本小児皮膚科学会	一般会員	尾山 徳孝
日本皮膚科学会	一般会員	尾山 徳孝
日本人類遺伝学会	一般会員	尾山 徳孝
日本皮膚科学会	一般会員	飯野 志郎
日本皮膚外科学会	評議員	飯野 志郎
日本皮膚病理組織学会	一般会員	飯野 志郎
日本皮膚外科学会	一般会員	馬場 夏希
日本フットケア学会足病医学会	一般会員	馬場 夏希
日本皮膚悪性腫瘍学会	一般会員	馬場 夏希
日本皮膚科学会	一般会員	馬場 夏希
日本皮膚外科学会	委員	飯野 志郎

国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構臨床研究審査委員会	技術専門員	長谷川 稔
日本臨床皮膚外科学会	一般会員	飯野 志郎
日本皮膚科学会	一般会員	加畑 雄大
日本解剖学会	一般会員	加畑 雄大
日本皮膚科学会	一般会員	笠松 宏至
日本研究皮膚科学会	一般会員	笠松 宏至
日本アレルギー学会	一般会員	笠松 宏至
日本皮膚免疫アレルギー学会	一般会員	笠松 宏至

(C) 座長

国内学会 (全国レベル)	学会名	氏名
	Sun Derma Seminar in 福井	長谷川 稔
	Sun Derma Seminar in 福井	尾山 徳孝
	第40回日本臨床皮膚科医会総会・臨床学術大会	長谷川 稔
	Atopic dermatitis expert seminar in FUKUI	長谷川 稔
	第123回日本皮膚科学会総会	長谷川 稔
	第123回日本皮膚科学会総会	長谷川 稔
	ソーティクツ適正使用講演会in Hokuriku	長谷川 稔
	日本皮膚科学会北陸地方会第482回例会	飯野 志郎
	第14回 Skin Disease Research Conference	尾山 徳孝
	第14回 Skin Disease Research Conference	長谷川 稔
	乾癬市民公開講座 in 福井	長谷川 稔
	希少皮膚疾患セミナー in FUKUI	長谷川 稔
	第39回日本皮膚外科学会総会・学術集会	長谷川 稔
	Atopic Dermatitis Symposium ～アトピー性皮膚炎の最新治療～	長谷川 稔
	爪白癬治療WEBセミナー in 福井	長谷川 稔
	第39回日本乾癬学会学術大会	長谷川 稔
	LEO Dermatology Seminar	長谷川 稔
	日本皮膚科学会北陸地方会第483回例会福井県分科会	長谷川 稔
	第15回 Skin Disease Research Conference	尾山 徳孝
	第15回 Skin Disease Research Conference	長谷川 稔
	第88回日本皮膚科学会東部支部学術大会	長谷川 稔
	第88回日本皮膚科学会東部支部学術大会	長谷川 稔
	オテズラ錠講演会 地域で考える乾癬治療	尾山 徳孝
	第4回福井皮膚疾患・創傷治療研究会	長谷川 稔
	Dermatology Web seminar 2024	尾山 徳孝
	第75回日本皮膚科学会中部支部学術大会	長谷川 稔
	第75回日本皮膚科学会中部支部学術大会	長谷川 稔
	イブグリース講演会 in 福井	長谷川 稔
	第88回日本皮膚科学会東京支部学術大会	長谷川 稔
	日本アレルギー学会北陸支部第6回地方会	尾山 徳孝
	第16回 Skin Disease Research Conference	尾山 徳孝
	オテズラWEBセミナー	尾山 徳孝
	日本皮膚科学会北陸地方会第484回例会	尾山 徳孝
	第54回日本皮膚免疫アレルギー学会学術大会	長谷川 稔
	第54回日本皮膚免疫アレルギー学会学術大会	尾山 徳孝
	CTD/ILD Expert Web Conference	長谷川 稔
	第17回 Skin Disease Research Conference	長谷川 稔
	Psoriasis Expert Seminar in HOKURIKU	小林 知子
	日本皮膚科学会北陸地方会第485回例会	尾山 徳孝
	日本皮膚科学会第166回宮崎地方会 天野正宏教授退任記念	長谷川 稔
	第4回Sun Derma Seminar in 福井	尾山 徳孝

	第4回Sun Derma Seminar in 福井【web講演会】	長谷川 稔
	Dermatology Expert Seminar in Fukui	小林 知子
	Dermatology Expert Seminar in Fukui	長谷川 稔
	Lilly Biotherapy Seminar	笠松 宏至
	Atopic dermatitis expert seminar in FUKUI	長谷川 稔
	第40回日本臨床皮膚科医会総会・臨床学術大会	長谷川 稔
	Sun Derma Seminar in 福井	長谷川 稔
	第123回日本皮膚科学学会総会	長谷川 稔
	第123回日本皮膚科学学会総会	長谷川 稔
	ソーティクツ適正使用講演会in Hokuriku	長谷川 稔
	第14回 Skin Disease Research Conference	長谷川 稔
	乾癬市民公開講座 in 福井	長谷川 稔
	希少皮膚疾患セミナー in FUKUI	長谷川 稔
	第39回日本皮膚外科学会総会・学術集会	長谷川 稔
	爪白癬治療WEBセミナー in 福井	長谷川 稔
	第39回日本乾癬学会学術大会	長谷川 稔
	LEO Dermatology Seminar	長谷川 稔
	日本皮膚科学会北陸地方会第483回例会福井県分科会	長谷川 稔
	第15回 Skin Disease Research Conference	長谷川 稔
	第88回日本皮膚科学会東部支部学術大会	長谷川 稔
	第88回日本皮膚科学会東部支部学術大会	長谷川 稔
	第4回福井皮膚疾患・創傷治癒研究会	長谷川 稔
	第75回日本皮膚科学会中部支部学術大会	長谷川 稔
	第75回日本皮膚科学会中部支部学術大会	長谷川 稔
	イブクリース講演会 in 福井	長谷川 稔
	第88回日本皮膚科学会東京支部学術大会	長谷川 稔
	第54回日本皮膚免疫アレルギー学会学術大会	長谷川 稔
	CTD/ILD Expert Web Conference	長谷川 稔
	第17回 Skin Disease Research Conference	長谷川 稔
	日本皮膚科学会第166回宮崎地方会 天野正宏教授退任記念	長谷川 稔
	第4回Sun Derma Seminar in 福井【web講演会】	長谷川 稔
	Dermatology Expert Seminar in Fukui	長谷川 稔
	Lilly Biotherapy Seminar	笠松 宏至
	Sun Derma Seminar in 福井	尾山 徳孝
	第14回 Skin Disease Research Conference	尾山 徳孝
	Atopic Dermatitis Symposium ～アトピー性皮膚炎の最新治療～	長谷川 稔
	第15回 Skin Disease Research Conference	尾山 徳孝
	オテズラ錠講演会 地域で考える乾癬治療	尾山 徳孝
	Dermatology Web seminar 2024	尾山 徳孝
	日本アレルギー学会北陸支部第6回地方会	尾山 徳孝
	第16回 Skin Disease Research Conference	尾山 徳孝
	オテズラWEBセミナー	尾山 徳孝
	日本皮膚科学会北陸地方会第484回例会	尾山 徳孝
	第54回日本皮膚免疫アレルギー学会学術大会	尾山 徳孝
	日本皮膚科学会北陸地方会第485回例会	尾山 徳孝
	第4回Sun Derma Seminar in 福井	尾山 徳孝

(D) 学術雑誌等の編集

業績一覧

学術雑誌等の名称	査読・編集	委員長（主査）・委員の別	氏名	査読編数
Eur J Dermatol	査読		長谷川 稔	3
Modern Rheumatology Case Reports 【Mod Rheumatol Case Rep】	査読		長谷川 稔	2
Eur J Dermatol	査読		長谷川 稔	3
Exp Dermatol	査読		長谷川 稔	1
J Dermatol	査読		長谷川 稔	3
Modern Rheumatol 【Mod Rheumatol】	査読		長谷川 稔	1
J Dermatol Sci	査読		長谷川 稔	1
Immunology Letters	査読		長谷川 稔	1
JAMA Dermatology	査読		長谷川 稔	1
月刊皮膚科	編集		長谷川 稔	1
J Dermatol	編集		長谷川 稔	1
Modern Rheumatology Case Reports 【Mod Rheumatol Case Rep】	査読		長谷川 稔	2
Exp Dermatol	査読		長谷川 稔	1
J Dermatol	査読		長谷川 稔	3
Modern Rheumatol 【Mod Rheumatol】	査読		長谷川 稔	1
J Dermatol Sci	査読		長谷川 稔	1
Immunology Letters	査読		長谷川 稔	1
JAMA Dermatology	査読		長谷川 稔	1
月刊皮膚科	編集		長谷川 稔	1
J Dermatol	編集		長谷川 稔	1

(E) その他

6. 産業・社会への貢献

(A) 国・地域等への貢献

(1) 審議会・委員会・公益法人・会社等への参加状況

区分	機関の名称等	委員会の名称等・役割	氏名	期間
	旭化成ファーマ株式会社	学術指導者		20250114-20260107

(2) 社会人等への貢献及び学校等との連携・協力による活動

区分	活動名・活動内容	主催者・対象者等	氏名
----	----------	----------	----

(B) 国際貢献

国際協力事業

活動名・活動内容	氏名	相手方機関名	役割	期間	活動国名
----------	----	--------	----	----	------

(C) その他業績

(D) 特記事項